

財団法人まちみらい千代田
平成19年度第3回評議員会議事録

1 日 時

平成19年10月24日（水） 午前10時から10時40分

2 場 所

ちよだプラットフォームスクウェア5階504～506会議室(千代田区神田錦町3-21)

3 評議員現在数 18名

4 出席者

(1) 出席者（13名）

内山勝行、岡田貫伍、木元尚男、高田咲子、棚橋孝江、塚本一郎、中川典子、
長井定江、長坂慶子、根元昌芳、野本俊輔、服部浩美、本郷滋

(2) 委任状提出者（3名）

大澤義行、久寿米木康宣、廣瀬元夫

(3) 当法人の出席者

理事長 長田貴雄、副理事長 川崎侑孝、事務局長 浅古清

5 議 題

(1) 議案第1号 財団法人まちみらい千代田理事及び監事の選任について

(2) 議案第2号 平成19年度財団法人まちみらい千代田一般会計収支補正予算(案)
について

(3) 報告事項

① 財団法人まちみらい千代田事業進捗状況について

1) 江戸天下祭の実施報告について

(4) その他

6 開会、議事録署名人の選任

定刻に至り、野本会長が寄附行為第35条第1項の規定により議長となり、開会を宣言した。まず、長田理事長に開催挨拶を求め、長田理事長より、平成19年度に入り半年が経過したが、マンション居住、情報基盤の整備、区から移管された商工振興関連など、着実に事業を進めている。中でも10月29、30日に開催された江戸天下祭で事務局を努め、財団を挙げて総動員で対応した。今回は宵宮や朝鮮通信使の参加、太田道灌の記念行事等があり従来にない行事を企画し、一応の成功裏に終わることが出来た。

また、平成 20 年度予算編成にあたっては、選択と集中を基本スタンスとして予算編成を行っている。さらに、その事業内容に合わせて千代田区観光協会との連携のあり方や人事異動等を考慮した、組織の見直しを考えていることなどを伝える旨の挨拶があった。

次に、事務局に本日の出席者について報告をさせ、寄附行為第 27 条の規定に定める定足数を満たしていることを確認し、本評議員会が有効に成立している旨を告げた。

引き続き、本評議員会の議事録署名人として、内山勝行評議員と棚橋孝江評議員の 2 名を指名したい旨を諮ったところ、満場一致の賛成があったので、両評議員を指名し、本人もこれを承諾した。よって、議案の審議に入った。

7 議事の経過及び結果

(1) 議案第 1 号 財団法人まちみらい千代田理事及び監事の選任について

事務局から、理事辞任の申し出があった大賀公子氏と平出信人氏の後任として NTT 東日本東京中央代表取締役の河野悟氏と、東京電力株式会社銀座支店長の野口秀人氏を、それぞれ理事候補者として、また、監事辞任の申し出があった菅納敏恭氏の後任として税理士の渡邊牧文氏を監事候補として、寄附行為第 17 条 1 項の規程に基づき提案する旨の説明があり、出席評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(2) 議案第 2 号 平成 19 年度財団法人まちみらい千代田一般会計収支補正予算(案)について

配布資料に基づき、事務局から次のような説明を行った。

平成 19 年 6 月 5 日付で、千代田区より姉妹都市交流事業の住民交流助成事業が財団法人まちみらい千代田に移管された。これに対応するために、収入・支出予算を補正するものである。

この理由により、一般会計収支補正予算を提案したい旨の説明があり、出席評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(3) 報告事項 財団法人まちみらい千代田事業進捗状況について

①江戸天下祭の実施報告について

江戸天下祭実行委員長でもある川崎副理事長より 10 月 29 日、30 日に行われた江戸天下祭についての報告があった。今年で江戸天下祭は 3 回目ということで、地方の方や区民の方からの要請により宵宮を行った。順行の見学者は 10 万人程度で、6 千人が参列に加わった。朝鮮通信使が日本を訪れて 400 年を迎えたことを記念して、順行に参列した朝鮮通信使は見学者から大きな注目を集めた。時間内に終わることが出来たが、順行の最後には見学者が少なくなってしまうことは今後の課題と考えているとの

説明をおこなった。

また、付帯イベントでは江戸城築城550年を記念して太田道灌のシンポジウム、朝鮮通信使シンポジウム、江戸城登城ウォーク、大江戸フットサルフェスティバル、千代田区皇居ロードレース大会を江戸天下祭にあわせて実施した。特に朝鮮通信使シンポジウムでは2000人の方に参加し、大きな成果があったように思う。

区商連がエコバックを販売したり、専門学校がアートギャラリーを使って作品展示をしたりと、様々な催しを実施した。

今回は雨天のため来場者数が大幅に減ってしまったことを踏まえ、次回の江戸天下祭はどのようにするかを考えて行きたい旨の説明をおこなった。

なおその際、次のような質疑応答や意見があった。

- 雨天のため、日比谷公園第2花壇の芝の上を歩くと、足が凄く濡れてしまった。ビニールを敷くなどの対処が欲しかった。

(事務局)

雨対策が不十分であったことは反省している。次回は、当日雨である可能性も考え、対処していきたい。

- 会場（日比谷公園第2花壇）への入り口が少ない。

(事務局)

構造上難しいが、検討していきたい。

- 宣伝はどのように行ったのか。

(事務局)

メディアでは朝日新聞、読売新聞、東京新聞の紙面にてPRを行った。また、広報千代田やインターネットを通してPRを行った。

- 区内の大学へ天下祭PRの協力要請が出来なかったのか。

(事務局)

今回は大学の学園者と重なる時期であったため、協力要請が難しかった。次回は積極的に応援要請をしていきたい。

- 企業の参加はどのような状況であったか。

(事務局)

協賛をいただいた企業に対しては、ブースを貸出し各企業のPRの場を設けた。

- 天下祭はもともと神田明神等の神社を中心とした歴史を持つ。この「江戸天下祭」は宗教心の強いものであるのか。それとも、単に千代田区のイベントとして捉えてよいのか。

(事務局)

千代田区のイベントとして考えている。今後は名称を「江戸天下祭」から「千代田区江戸天下祭」とし、宗教的なイメージを払うと共に、誰でも参加できるようなイベントにしていきたい。

- 開催日時を固定して欲しい。または、早めに決定して欲しい。

(事務局)

日比谷公園は東京都の管理下にあるため、日程調整に苦勞している。出来るだけ早く開催日を決定するように努力して行きたい。

(4) その他

事務局から次回の評議員会は、平成20年の2月ないし3月に開催を予定していることを伝えた。

8 閉会

以上をもってすべての議題の審議を終了したので、午前10時40分に議長は閉会を宣言し、解散した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人2名がこれに署名、押印する。

平成19年10月24日

財団法人まちみらい千代田
平成19年度第3回評議員会

議 長 野 本 俊 輔 ㊟

議事録署名人 内 山 勝 行 ㊟

議事録署名人 棚 橋 孝 江 ㊟